

市が公民館や市民館などの統廃合を検討へ

公民館や市民館などは地域活動に不可欠な場。私は安易な統廃合に強く反対します。

西宮市は公民館や市民館、共同利用施設の統廃合について検討に入りまし。市の公共施設適正配置審議会の答申を受けて、市議会6月定例会で報告。市は市営住宅や教育施設を含む公共施設について今後20年間で全体の10%を削減することを目標にしており、その一環です。公民館などの施設は自治会などの地域活動に不可欠な場になっており、私は市議会で安易な統廃合に強く反対しました。

浜甲子園センター、網引市民館など対象

市内には現在、公民館24館と市民館22館、共同利用施設10館があります。共同利用施設は航空機騒音対策として地域住民のために建てられたもので、現在はいずれも騒音対策区域から外れています。市は将来人口減少が見込まれ、財政状況が厳しくなることから、公共施設の削減を計画。その一環として公民館などの統廃合も検討することとし、平成26年8月、審議会に諮問しました。答申では、市内を小学校区などで区分し、これらの施設の配置状況を分析。人口などで比較し、過剰に配置されている施設を統廃合などの検討対象としました。



■統廃合などの検討対象になった網引市民館

設を統廃合などの検討対象としました。南甲子園小学校区については、甲子園浜小学校区との境

付近に南甲子園公民館があることから、両校区を1区分と設定して分析。この中にある南甲子園公民館、浜甲子園センター、網引市民館のうち、浜甲子園センターと網引市民館の2館を「統廃合・用途変更を含めた適正配置の検討対象」としました。その理由としては、いずれも施設の重なりと稼働率の低さを指摘。網引市民館については、築50年が経過し、耐震補強が未実施のため検討が急務としています。市は「答申を踏まえて、適正配置の素案を作り、市民の意見を聴きたい」としています。

ら重要で、地域の催しや活動の大切な場になっています。これらの施設は市の施設全体の2〜3%に過ぎず、市営住宅が全体の41%を占めます。このため、公民館などを統廃合しても大きなリストラ効果は望めず、私は公共施設を削減するのであれば、市営住宅の縮小こそ優先すべきだと考えます。

私は市議会6月定例会の総務常任委員会で、公民館などの統廃合が地域活動を阻害したり、活動の担い手の意欲を減退させないように慎重な検討を市当局に強く要請する。自治会をはじめ、地域の住民の意向を十分に聞いて尊重し、住民の皆さんの意向に沿って適正配置を検討してほしい」と市当局に訴えました。

南甲子園小・甲子園浜小学校区以外で統廃合・用途変更などの検討対象とされた施設

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 鳴尾地区 | ●鳴尾中央センター
●鳴尾センター
●八ツ松市民館 |
| 本庁南地区
(JR神戸線以南) | ●市庭市民館
●瓦林公園センター
●今津南市民館 |
| 本庁北地区
(JR神戸線以北) | ●柏堂市民館
●六軒市民館 |
| 甲東・瓦木地区 | ●高木センター |

かんの新聞 第1号 年4回発行

ジャーナリストの視点で調べる・伝える

元産経新聞記者 上智大学卒 人の痛みがわかる57歳

県が津波防災インフラ整備計画を発表

平成35年度に全整備事業が完了 津波想定区域は8割減へ

兵庫県は南海トラフ巨大地震を想定した「津波防災インフラ整備計画」を発表しました。西宮地域は重点整備地区に指定されており、平成35年度までに津波対策インフラ事業を完了させる予定。これによって市内の津波浸水想定区域が約8割減り、残りの区域でも居住地域では浸水の深さは30センチ未満になって避難行動をとることができるとしています。

計画は過去に100年に1回程度のペースで発生しているマグニチュード8.4程度の地震による「レベル1津波」と、発生頻度が極めて低いものの、甚大な被害をもたらすマグニチュード9クラスの地震による「レベル2津波」に分けて被害を想定し、対策を策定しました。

防波堤の沈下対策などで万全な体制づくり推進

「レベル1津波」の場合、市内では地震の揺れによる防波堤の被害は少なく、津波よりも防波堤が高いので、居住区域が浸水する可能性は低いとのこと。レベル2津波では、鳴尾地区で地盤の液状化に伴い、鳴尾川の防波堤の一部が沈下

その部分から津波が入り、広い地域が浸水します。西宮・今津地区では、防波堤の沈下に加え、防波堤の高さが十分でない部分から津波が入ります。計画では、「レベル2津波」による浸水想定区域(防潮堤内)842ヘクタールを163ヘクタールまで減少させます。鳴尾地区では、鳴尾川の防波堤の沈下対策などを推進。西宮・今津地区では、新川と東川が合流した下流部分に統合水門を新設するなどの対策を実施します。

南甲子園小校区は35年度中に浸水なしに

南甲子園小学校の校区では、「レベル2津波」で浸水する想定ですが、35年度までの全事業の完了で解消されるとしています。今津小学校区や甲子園浜小学校区も同じ想定です。全事業の完了で想定される被害は減りますが、県や西宮市は「想定を超える地震の発生も考えられる。これまでの想定通りJR神戸線以北か、堅固で高い建物の3階以上に避難してほしい」としています。



◆強化される鳴尾川防波堤



菅野雅



まさかず 保守系無所属

西宮市のためにがんばります!

かんの雅は4月26日の西宮市議会議員選挙に2085票をいただいて初当選。6月11日、議員の任期がスタートしました。西宮市のために、日本のためにがんばりますので、引き続きご支援ご指導をよろしくお願い致します。

西宮市議会議員

かんの雅

お待ちしております!!

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材したうえ、わかりやすく説明します。

言葉の解説

会派とは、議会運営を円滑・合理的に行うことを目的とした、政策・理念をお互に共有する団体のことで、政治団体である政党とは違います。西宮市議会の場合、3人以上の議員で構成された会派は議会運営委員会に代表を委員として送り込み、議会運営に積極的な役割を果たすことができます。

会派とは何?



本名:菅野 雅一(かんの・まさかず)
新聞記者として約30年間、培った経験を生かし、「市民の声を誰よりも取材し、わかりやすく伝える政治家」を目指す。西宮在住歴は約22年。南甲子園3丁目のマンションで大好きな妻と2人暮らし。

かんの雅一 事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101
〒663-8156 西宮市甲子園網引町5-7
TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530 《MAIL》 info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ www.kannomasakazu.com

次号は10月の発行予定です



◆都市計画道路浜甲子園線のルートになる甲子園浜

西宮市は市内の都市計画道路の未整備区間のうち、近いうちに整備する予定のない32路線49区間(約42.6キロ)を対象に見直しをすることに、存続路線と廃止路線を盛り込んだ都市計画変更案をまとめました。素案で国の鳥獣保護区がある甲子園浜を縦断し、阪神高速湾岸線に接続する浜甲子園線(甲子園筋)の延長計画を存続としたことに対し、多くの市民から反対する意見が寄せられています。

存続 廃止

市が都市計画道路網を見直し

●甲子園浜縦断の計画道路は存続へ

環境破壊につながる浜甲子園線の延長計画の事業化は「まずない」との見方が一般的。しかし、存続の方針が残れば、不確定要素もあります。

多くの市民から反対の声



素案では、25路線34区間(約26.1キロ)を存続、14路線15区間(約16.5キロ)を廃止としています。意見募集では、241件の意見が寄せられ、このうち205件が浜甲子園線の延長計画についての存続に対する反対意見でした。反対理由は①国指定の浜甲子園鳥獣保護区がある甲子園浜の自然環境が破壊される②交通量が増加し、住環境が悪化する③臨海部へのアクセスは整備済みの3路線で充足しているーなど。

市は浜甲子園線の延長計画を存続とした理由について「湾岸線は神戸市垂水区までの延長が計画されており、延長された場合の交通量の増加が不透明」(都市計画部)と説明。来年3月までに、存続の方針で都市計画変更が決定される見通しです。

市も自然環境への影響を認める

市によると、浜甲子園線の延長は海岸部から橋梁がトンネルによって約600メートル延長し、対岸の湾岸線に接続する計画。市は「事業が行われれば、甲子園

避難ビルの利用方法で住民が協議

●「グリーンラグーナ甲子園」6280人受け入れ

避難ビル側と周辺自治会の協議は市内で初めて。住民が効果的に避難するためには、こうした試みを全市に広げて実施する必要があります。

南海トラフ巨大地震に伴う津波などに備えて、西宮市に「津波避難ビル」に指定された大規模集合住宅「グリーンラグーナ甲子園」(南甲子園一丁目)の避難ビルとしての利用方法について協議する会合が6月27日、グリーンラグーナ甲子園で開かれました。

3カ所の出入り口を開放

会合には、この集合住宅の自治会であるグリーンラグーナ甲子園団地自治会と周辺の甲子園九番町、スーペリアタワー甲子園、中津町、南甲子園などの自治会幹部が出席。市によると、市内で避難ビルの利用方法について避難ビルの関係者と周辺住民が協議したケースは初めてのことです。

この集合住宅は14階建ての4棟と共用施設で構成。24時間体制で管理スタッフが常駐し、通常は住民などの関係者以外は入れません。

- 会合での説明
- ①兵庫県瀬戸内海沿岸部に津波警報や大津波警報が発表された場合と武庫川の氾濫に伴ってこの地域に避難勧告が発表された場合、南北3カ所の出入り口を開放し、周辺住民を受け入れる
 - ②周辺住民は4棟の3階以上の通路などを利用
 - ③館内のエレベーターは使用できない
 - ④6280人を受け入れることができる

周辺の自治会は「ありがたい」と歓迎



会合の後、出席者は集合住宅の内部を見学。災害時に開放される出入り口や周辺住民が利用することになる通路などを確認しました。グリーンラグーナ甲子園団地自治会の横山博会長は「グリーンラグーナ甲子園は周辺で一番大きな建物であり、避難ビルとして多くの



◆グリーンラグーナ甲子園の出入り口

皆さんを受け入れることが可能です。受け入れ体制を整えることで地域の皆さんが安心して暮らせる環境づくりに役立ちたい」と話しています。甲子園九番町自治会の橋本久会長は「グリーンラグーナ甲子園の皆さんにはとても好意的に対応していただき、ありがたいと思っています。今後とも情報交換や交流を深めていきたい」と話しています。

甲子園警察署の仮設庁舎が南甲子園に

周囲が狭い生活道路だけの敷地に建設。通園路や通学路があり、事故が起きないように万全な対策が必要です。



◆仮設庁舎建設予定地

甲子園警察署は西宮市甲子園七番町の現庁舎について耐震改修工事をするつもりになり、これに伴って南甲子園3丁目の市営住宅跡地に仮設庁舎を建設して今年11月から約1年間、執務を行います。工事は7月から始め、10月末に完了する予定です。

周辺は建設工事が重なり住民は大変な毎日

この地区では現在、市立南甲子園小学校の校舎建て替え工事やマンション建設工事が進められています。これに仮設庁舎建設工事が加わることで、騒音・振動・粉じんの被害や周辺道路の安全確保などについて不安視する声が住民の間で出ています。私は住民の声を関係機関に伝え、万全な対策を求めていきます。甲子園署などの説明では、約5800平方メートルの市営住宅跡地のうち約4500平方メートルを借りて、軽量鉄骨造2階建ての庁舎棟と別棟、軽量鉄骨平屋建ての倉庫棟の計3棟を建設。工

事について日曜日と祝日は原則、全休。作業時間は午前8時半から午後6時までとし、振動などが発生する作業は午前9時から午後5時半まで。工事期間中は高さ4メートルの防音壁を設置するとしています。

事故防止で署員の配置も検討

周囲は最大でも幅6メートル程度の一方通行の生活道路だけです。工事用車両の通行については一部道路の一方通行を解除して経路を確保し、交通誘導員を配置。近隣の市立南甲子園幼稚園と南甲子園小への通園・通学時間帯の午前7時半から午前9時までは工事車両の通行を行わないとしています。

甲子園署によると、警察車両の日常的な出入りは午前10時ごろから午前11時半までの時間帯に多く、事件・事故の緊急出動は月平均5回程度で、このうち夜間は月平均2〜3回。仮設庁舎から緊急出動する場合、中津浜線や臨港線などの幹線道路に出るまでは可能な限り、サイレンの使用を控えるとしています。来庁者の車両は平日で1日平均70台程度。仮設庁舎での執務期間中は事故防止などを図るため、署員を周辺道路に配置し、配置場所や人員などを検討するとしています。

かんのコラム 1

自治会に入りましょう

西宮市や市内の各自治会は自治会への加入を呼びかけています。自治会は市民が自主的に運営する身近な自治組織で、地域によっては「町内会」「福祉会」「共栄会」「住宅会」などとも呼ばれています。

活動内容は自治会によって異なりますが、夏祭りや敬老会の開催、公園や道路などの清掃活動、登下校の子どもの見守り、年末の特別警戒、防災訓練などがあります。



大災害の発生時などは近隣住民との協力が一番大切で、日ごろから自治会活動に参加して近所の人と顔見知りになっておけば、心強い。

西宮市民の自治会加入率は昨年7月現在、77.3%で、最近では横ばいの傾向にあります。自治会への加入をお考えの場合は、地域の自治会役員にたずねるか、下記まで連絡してください。

西宮市地域活動支援課 ☎0798(35)3471

西宮市議会 6月定例会 が閉会



西宮市議会は6月定例会で議長に大川原成彦議員(公明党議員団)を、副議長に大石伸雄議員(政新会)を選出。私が所属する「蒼士会」から遊谷祐介議員が議会運営委員長に選ばれました。

条例改正案などを可決し、7月10日、閉会しました。次回の9月定例会は8月31日、開会する予定です。私は9月定例会で一般質問をする予定です。